

経営比較分析表（平成29年度決算）

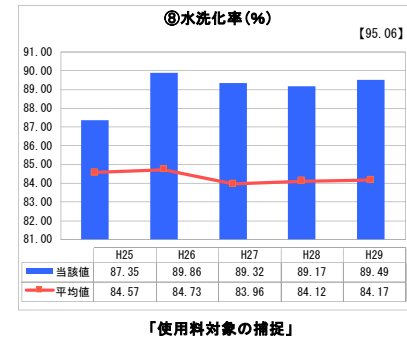
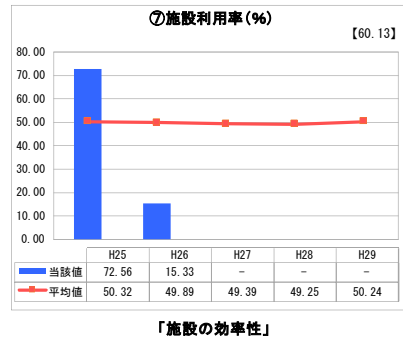
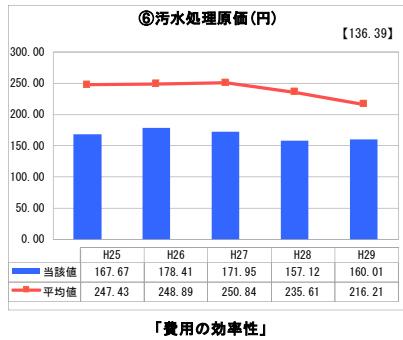
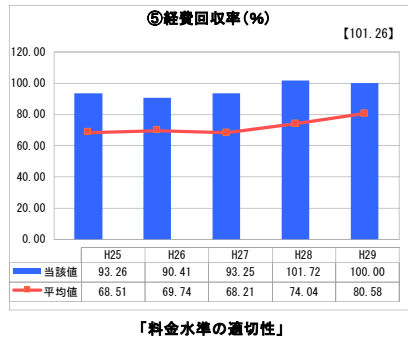
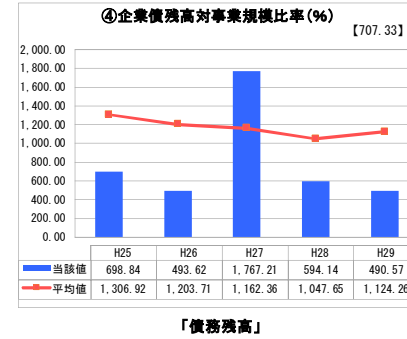
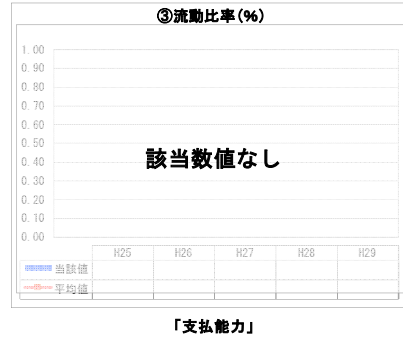
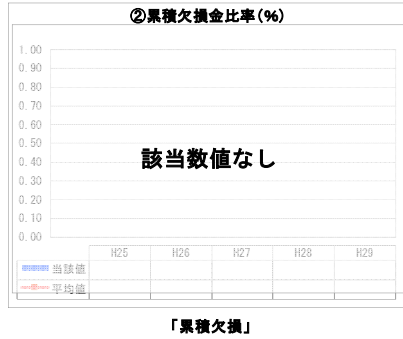
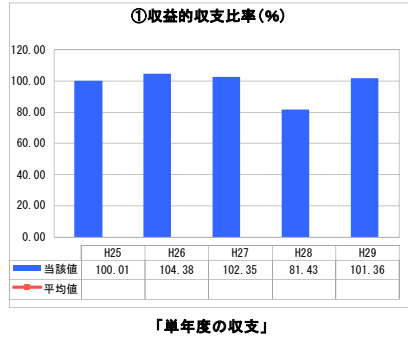
福島県 西郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	68.92	-	2,700

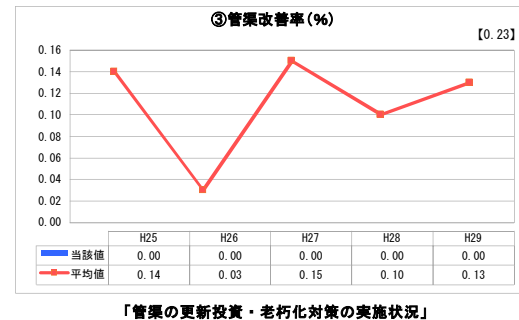
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,116	192.06	104.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,809	6.62	2,085.95

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、近年は概ね高い数値で推移している。
 ④企業債残高対事業規模比率については、西郷村経営戦略に記載のとおり、資本的支出の縮減を図りながら、起債残高の抑制に取り組んでいる。
 ⑤経費回収率及び⑧水洗化率においては類似団体を上回っており、⑥汚水処理原価は類似団体の7割程度で処理出来ていることから経営状況としては概ね良好である。
 ⑦施設利用率の数値が急激に悪化しているが、これは平成26年度末でフレックスプランとしての役目を終えた「大平浄化センター」が稼働を停止し、白河都市環境センターへの接続が完了したためである。
 ⑧水洗化率についても類似団体を上回っているが、より一層の経営健全化のためにも、地域住民への接続促進活動等を行い、接続率を更に向上させ、経営基盤の底上げを図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率は、新規での管渠埋設(面的整備)に注力していることから、例年0%となっている。今後も耐用年数が経過していない管渠についても、ストックマネジメント計画に基づいて検査・点検等を実施し、事故等の事前防止を図っていく予定である。

全体総括

類似団体との比較や全体的な数値から見て、概ね健全な経営が出来ていると思われる。しかしながら、今後むかえる莫大な施設等の更新費用に充てる財源を確保するという点からも、更に接続率を向上させ、経営改善を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。